

1.4 事業の成果目標及び計画

当事業の成果目標を以下に示す。

- 「事業アーキテクト養成」の教育プログラム
戦略・マネジメント・IT 技術等の融合型プログラムの開発(カリキュラム、教材等)
新設科目(講義 7 科目、事例研究・PBL 4 科目)及び既存科目から構成
- 事業アーキテクト養成のための基盤の構築
事例研究型教育手法及び事例教材
- 社会人及び女性の学び直しのための新しい環境
時間・場所・費用の制約の緩和、録画・遠隔授業等
- 社会人のキャリアアップの仕組み
産学連携による学修成果の記録・評価制度等
- 社会人学び直し啓発・機運醸成の仕組み
学び直し啓発イベント(専門職コミュニティ)、Web 記事等
- 事業成果の普及

以下では、年度単位での活動目標(アウトプット)、成果目標(アウトカム)、計画(スケジュール)を示す。

1.4.1 活動目標 (アウトプット)

《平成 26 年度》

平成 26 年度は、当事業の活動内容、作業項目、スケジュール詳細を決定、教育プログラム開発(カリキュラム企画及び開発、教材の調査・開発・実証実験)と、学び直し啓発のための学修コミュニティイベントの企画・開催を行う。また、平成 27 年度からの教育プログラム(大学院修士課程)の試行運用のための学内調整を行う。事業成果(進捗)報告等は、Web サイトでの情報公開、ワークショップ開催、報告書で行う。

- 教育プログラムの開発(カリキュラム設計、平成 27 年度開講予定の講義・演習型科目等の教材の調査・開発)
- 学修コミュニティイベントの企画、開催(社会人学び直し啓発・社会人一般対象)
- Web 記事作成・掲載(社会人学び直し啓発)

- 社会人学び直し推進委員会開催 2回
- プログラム開発委員会開催 2回(作業部会 4回程度)
- ワークショップ開催(関係教育機関・企業等対象、情報交換・進捗報告) 1回
- 当事業の情報公開 Web サイト(随時更新)、事業成果報告書 作成

《平成 27 年度》

平成 27 年度は、平成 28 年度開講予定の PBL 型科目等の教材・事例の調査・開発・実証実験と、学び直し啓発のための学修コミュニティイベントの企画・開催を行う。また、平成 26 年度に開発した教育プログラム(カリキュラム、教材)にしたがって、実際に教育プログラム(大学院修士課程)の試行運用を行う。PBL 及び事例研究の教育効果を高めるため、産業界から講師(専門家)を招聘して、集中型の PBL キャンプを開催する。また事業成果(進捗)報告等は、Web サイトでの情報公開、ワークショップ開催、報告書で行う。

- 教育プログラムの試行運用(通年、本学「事業アーキテクト」コース)
- 平成 28 年度開講予定の PBL 型科目等の教材・事例(5 事例)の調査・開発
- 教員研修(事例研究及び PBL)
- 教材の実証実験(2 実験)、PBL キャンプ(5 日間)
- 学修コミュニティイベント開催(社会人学び直し啓発・社会人一般対象)
起業塾 4 回程度
- Web 記事作成・掲載(社会人学び直し啓発)
- 社会人学び直し推進委員会開催 3 回
- プログラム開発委員会開催 3 回(作業部会 4 回程度)
- ワークショップ開催(関係教育機関・企業等対象、情報交換・進捗報告) 1 回
- 外部評価委員会 1 回(学外の委員、大学及び産業界から 5 名程度)
- 当事業の情報公開 Web サイト(随時更新)、事業成果報告書 作成

《平成 28 年度》

平成 28 年度は、平成 27 年度から継続して、教材の実証実験と、学び直し啓発のための学修コミュニティイベントの企画・開催、教育プログラム(大学院修士課程)の試行運用、PBL キャンプを開催する。また事業成果報告等は、Web サイトでの情報公開、最終成果報告講演会開催、報告書で行う。

- 教育プログラムの試行運用(通年、本学「事業アーキテクト」コース)
- 学修コミュニティイベント開催(社会人学び直し啓発・社会人一般対象)
起業塾 4 回程度
- Web 記事作成・掲載(社会人学び直し啓発)
- 社会人学び直し推進委員会開催 3 回
- プログラム開発委員会開催 3 回(作業部会 4 回程度)
- 最終成果報告講演会開催(関係教育機関・企業等対象、情報交換・進捗報告) 1 回
- 外部評価委員会 1 回(学外の委員、大学及び産業界から 5 名程度)
- 教員研修(事例研究及び PBL)
- 教材の実証実験、PBL キャンプ
- 当事業の情報公開 Web サイト(随時更新)、事業成果報告書 作成

1.4.2 成果目標 (アウトカム)

《平成 26 年度》

平成 26 年度の期待される成果実績を以下に示す。

- 教育プログラムの開発(カリキュラム、講義演習型科目の教材等)
- 社会人学び直し機運醸成
学修コミュニティイベント(起業塾)開催、Web 記事掲載
- 事業成果の普及
ワークショップの開催、Web サイトでの情報公開、成果報告書配布(関係教育期間、企業等)

《平成 27 年度》

平成 27 年度の期待される成果実績を以下に示す。

- 教育プログラムの開発(事例研究科目、PBL 型科目等の教材、事例の調査、開発、実証実験)
- 教育プログラムの試行運用による事業アーキテクト養成のための基盤の構築
- 社会人学び直し機運醸成
学修コミュニティイベント(起業塾)開催、Web 記事掲載
- 事業成果の普及

ワークショップの開催、Web サイトでの情報公開、成果報告書配布(関係教育期間、企業等)

《平成 28 年度》

平成 28 年度の期待される成果実績を以下に示す。

- 教育プログラムの試行運用による事業アーキテクト養成のための基盤の構築
- 社会人及び女性の学び直しのための新しい環境
- 産学連携によるキャリアアップの仕組みの構築
- 社会人学び直し機運醸成

学修コミュニティイベント(起業塾)開催、Web 記事掲載、学び直しの環境整備

- 事業成果の普及

最終成果報告講演会の開催、Web サイトでの情報公開、成果報告書配布(関係教育期間、企業等)

1.4.3 事業計画 (スケジュール)

平成 26 年度から平成 28 年度までの事業計画を以下に示す。

年度	平成26年度		平成27年度				平成28年度			
	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
カリキュラム・知識体系の設計	教育内容等									
調査(事例等)	観光、医療等の産業分野の調査等									
科目・教材の開発(授業演習型)	シラバス、授業資料等									
科目・教材の開発(事例研究型)		事例研究メソッド等								
科目・教材の開発(PBL型)			教員研修等							
科目・教材の実証実験		遠隔授業、PBLキャンプ等								
教育プログラムの試行運用			事業アーキテクトコース(2年)							
社会人の修学のための仕組み			社会人学び直し環境の整備・改善							
キャリアアップのための仕組み			学修成果の記録・評価制度等							
一般対象のイベント(起業塾)		◎	◎	◎	◎◎		◎	◎	◎◎	
Web記事		◎		◎	◎			◎	◎	
関係者対象のワークショップ		◎				◎				◎
評価及び改善(外部評価等)						◎				◎
公式Webサイト		随時更新								
事業成果報告書		◎				◎				◎

図 2: 事業計画